

晋山結成について

晋山式

晋山式の「晋」の字は、「進む」という意味があります。「山」の字は、お寺には、必ず山号というものがありませんが、そのことを意味します。東光寺の山号は医王山となります。

つまり山に進むとは、お寺に入るといふ事なのです。この儀式によって正式に、そこのお寺の住職となる、大変貴重な儀式となります。

結制

結制とは、仏様の定められた制度に従って多くの修行僧を集束するという意味なのです。お釈迦様の時代

から続く制度で、インドでは四月から七月まで、雨季に入りますが、その期間外での修行をやめて、お寺の中で修行致します。これを結制安居と申します。

しかし今日では、仏道精進の為僧堂に入り修行をすることを安居といい、結制は儀式として行われるようになりました。

儀式として形式化されてはいますが、その一つ一つには、昔からの修行上の実践的な意味を多くふくんでいるのです。

法戦式

法戦式の主役である首座とは、どのような人かと思はれます。結制修行中、一般



修行僧の先頭に立つ人の事を首座といいます。学校でいうならば生徒会長のような役職の人の事です。

法戦式とは、住職にかわり、禅の修行について問答を交わす儀式のことです。お釈迦様も弟子の迦葉尊者に自分の席を半分譲って説法を許されたといわれております。その事に習って行われている儀式です。

相談窓

特別に相談のある方は、電話で予約され、御来山下さい。

令和四年 年回表

一周忌	令和三年
三回忌	令和二年
七回忌	平成二十八年
十三回忌	平成二十二年
十七回忌	平成十八年
二十三回忌	平成十二年
二十五回忌	平成十年
三十三回忌	平成二年
五十回忌	昭和四十八年

毎月十日は金毘羅山の縁日となっています。皆様ぜひご参詣ください。